

秋冬人参での緑肥の活用について

平成29年度の秋冬ニンジン収穫も終盤に向かっていきます。次年度に向け、緑肥の情報をお知らせします。

秋冬ニンジンで使用できる緑肥は、「野生種エンバク」と「チャガラシ」があります。チャガラシはエンバクより出穂が早く5月中下旬には出穂します。緑肥は生草をすき込むことで有機物を土壤に供給したり、根で硬盤を破碎し、水はけを良くしたりします。生草重量を確保するためには、遅くとも3月中の播種を心がけましょう。早く播種をしても生育が悪いところでは、地力窒素が少ないと考えられますので、硫安等の肥料を施用しましょう。

緑肥名	播種量	播種時期	目標草丈	施肥量
チャガラシ (辛神)	1 kg/10a	3月～4月	80 cm～	NPK で各 5～10 kg/10a
エンバク 野生種	散播き； 8～10 kg/10a 条播き； 4～5 kg/10a	3月～4月	80 cm～	NPK で各 0～5 kg/10a

※チャガラシは、モンシロチョウ等に加害されますので周りの圃場に迷惑が掛からないように注意しましょう。



←このエンバクで
草丈約 90 cm、生草
重量約 3.6 t /10a
3月20日播種
6月5日すき込み



※緑肥種子の注文は各経済センターにて行っておりますので、
お問い合わせ下さい。